

☆TAC!! 公式アカウント 友達募集中☆

TAC公式LINEアカウントではTACの皆様が日々担い手に訪問する際に話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。
ぜひご登録ください！

■登録は右のQRコードからお願いいたします■



お知らせ

■本所耕種総合対策部 TAC・営農支援課「91農業」のInstagramを開設しました！NEW

全農 TAC・営農支援課では、多様な人材が各々のライフスタイルに合わせて農業に関わることができるよう、農業へのハードルを下げて農業参加を促進する、「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトとする新たなライフスタイル「91農業」（キュウイチノウギョウ）を提唱しています。この活動を通じて、農業に興味がある人や将来農業を志す人に対し、農業を経験する場を提供したいと考えています。
この取り組みをさらに多くの方々に発信するために、10月6日に「91農業」の公式Instagramを開設しました。今後は「91農業」の情報や作業の様子を投稿していきます。
毎週2回、月曜と木曜（祝日の場合は翌日）の夜に投稿しますので、ぜひご覧いただくとともに、フォローもよろしくお願いします！



【「91農業」インスタ 初回投稿の一部】

■岡山県本部「桃生産者へ農機の安全操作ならびに点検に関する研修会」を開催（10／16）NEW

JA全農おかやまは10月16日、JA岡山中央会、JA晴れの国岡山、JA全農岡山農機事務所と共同で桃生産部会員を対象に農機研修会を開催しました。

当日はやまびこジャパン株式会社より講師をお招きし、スピードスプレー（SS）や高所作業機の実機を前に適切な操作方法や点検・整備のポイントを共有しました。また、園地における農作業事故事例を紹介し、農作業安全への意識向上を図りました。研修会後半では、生産者が所有する草刈機を持ち込み、講師に日頃の使い方やメンテナンスを直接質問する時間も設けられ、現場の課題解決につながる実践的な研修となりました。

今後もグループ体となって担い手に寄り添い、園芸振興と安全・安心な農作業の推進に取り組んでいきます。



【スピードスプレー操作説明の様子】

■福岡県本部「JA糸島・JA粕屋 同行訪問および意見交換」（9／29）を実施 NEW

福岡県下TAC活動強化の一環として、JA糸島にてJA粕屋との同行訪問および意見交換を実施しました。TAC設置2年目のJA粕屋が、JA糸島TACと糸島管内の生産者へ同行訪問を行い、実際の訪問活動を通じ担い手との関わり方や対応のポイントを学びました。その後、JA糸島会議室にて両JAの体制や活動内容、担い手営農サポートシステムの活用について意見交換を行い、両JA TAC活動に関する理解を深めました。県域TACでは今後も県下JA間の連携を促進し、TAC活動のさらなる活性化を図ってまいります。



【ＪＡ糸島・ＪＡ粕屋 意見交換の様子】

■岡山県本部「営農指導員強化研修」を開催（９／１８）NEW

岡山県本部は、９月１８日に営農指導員強化研修を実施し、出向く活動について講義しました。

本研修は３年間を通じて、土壌肥料技術、病害虫管理技術、栽培技術などを体系的に学び、営農指導員の基礎知識・技術力を向上させることを目的としています。今回は１年目職員を対象に、出向く活動の意義に関する座学と担い手営農サポートシステムの操作体験を行い、受講生は記録の蓄積が自身の活動の振り返りや情報共有に役立つことを学びました。また、ＪＡグループ岡山が推進するブロッコリーの生産振興の一環として、定植前の農薬散布や、苗の観察を通じて生育差の要因を考察するフィールドワークも実施しました。

岡山県本部では、今後も担当者の出向く活動スキル向上を目指した研修会を継続していきます。



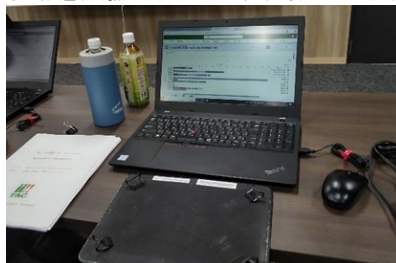
【ブロッコリー苗管理の現地実習の様子】

■岡山県本部「ＪＡ担当者向け担い手営農サポートシステム操作研修」を開催（９／１６）NEW

岡山県本部は、９月１６日にＪＡ晴れの国岡山の赤磐アグリセンターにてＪＡ指導員を対象とした担い手営農サポートシステムの操作研修会を実施しました。

本研修では、担当者の出向く活動に活かせるよう、パソコンでの操作研修に加え、タブレットでの操作研修も行いました。カリキュラムには面談記録の記入だけでなく、ファイル機能やダッシュボードなど応用的な使い方も盛り込みました。参加者からは、「タブレットで撮った写真を面談記録に添付できるとは知らなかった」、「ダッシュボードを管内の情報共有・状況把握に役立てたい」との声がありました。

岡山県本部では、引き続き管内ＪＡのＴＡＣ活動を支援できるよう、様々な研修会を実施してまいります。



【担当者が研修会の様子をタブレットで撮り担い手営農サポートシステムに投稿した様子】

■本所耕種総合対策部 ＴＡＣ・営農支援課

「ＴＡＣ・出向く活動パワーアップ大会２０２５ 地区別審査委員会」を開催（９／１９・２５）

ＪＡ全農では、来る令和７年１１月２０・２１日に新横浜プリンスホテルにて「ＴＡＣ・出向く活動パワーアップ大会２０２５」を開催します。これに先立ち、９月１９日～２５日にかけて３地区（東日本・西日本・中四国九州）で地区別審査委員会を開催しました。

応募のあった事例はどれも甲乙つけがたく審査は非常に難航しましたが、厳正なる審査の結果、ＪＡ部門・ＴＡＣ部門あわせて６つの事例が新横浜プリンスホテルでの最終審査に進出することとなりました。また、ＴＡＣ部門では各地区２位、３位となった事例を地区別優秀賞として表彰し、本大会で事例発表をいただく予定です。

なお、ＴＡＣトップランナーズＪＡ※はＪＡレーク滋賀（滋賀県）、ＪＡ小松市（石川県）、ＪＡ北びわこ（滋賀県）、ＪＡ筑前あさくら（福岡県）が受賞、ＪＡ部門 米集荷特別表彰はＪＡあさひかわ（北海道）、ＪＡ小松市（石川県）、ＪＡ北びわこ（滋賀県）が受賞となりました。

各部門受賞者は以下のとおりです。

※ＪＡ小松市、ＪＡ北びわこ、ＪＡ筑前あさくらについては、本年度の特別措置による受賞となります。

TAC・出向く活動パワーアップ大会2025活動表彰 審査結果

【TACトップランナーズJA】

県名	農協名
滋賀県	レーク滋賀農業協同組合
石川県	小松市農業協同組合
滋賀県	北びわこ農業協同組合
福岡県	筑前あさくら農業協同組合

※小松市農業協同組合、北びわこ農業協同組合、筑前あさくら農業協同組合については、本年度の特別措置による受賞。

【JA部門 最終審査進出事例】

県名	農協名	地区
秋田県	秋田なまはげ農業協同組合	東日本
静岡県	ハイナン農業協同組合	西日本
福岡県	筑前あさくら農業協同組合	中四国九州

【TAC部門 最終審査進出事例】

県名	農協名	氏 名	地区
福島県	ふくしま未来農業協同組合	蒔田 和也 氏	東日本
和歌山県	和歌山県農業協同組合	土谷 賢太郎 氏	西日本
熊本県	本渡五和農業協同組合	山下 清弥 氏	中四国九州

【TAC部門 地区別優秀賞】

県名	農協名	氏 名	地区
岩手県	岩手中央農業協同組合	米田 菜摘 氏	東日本
秋田県	秋田しんせい農業協同組合	佐々木 敬太 氏	東日本
石川県	金沢市農業協同組合	山本 智広 氏	西日本
滋賀県	レーク滋賀農業協同組合	中辻 秀章 氏	西日本
島根県	島根県農業協同組合	原田 裕幸 氏	中四国九州
愛媛県	越智今治農業協同組合	合田 光 氏	中四国九州

【JA部門 米集荷特別表彰】

県名	農協名
北海道	あさひかわ農業協同組合
石川県	小松市農業協同組合
滋賀県	北びわこ農業協同組合

■本所耕種総合対策部 TAC・営農支援課

「令和7年度県域TAC研修会(実践編)」を開催(9/26)

本所TAC・営農支援課は9月26日、令和7年度県域TAC研修会(実践編)を開催し、約80名の受講をいただきました。今回は近年のTAC活動の課題に対するJA・県域の取り組みとして、「TAC体制づくり」(JAあさひかわ)・「TACミーティング」(JAにじ・福岡県本部)・「人材育成」(滋賀県本部)・「担い手営農サポートシステム活用」(秋田県本部)をテーマに講義いただきました。各県の実践的な事例を共有いただき、TAC活動の強化につながるよい機会となりました。

研修内容はYouTubeで限定配信しております。URLは先日メールにてご案内のとおりですので、当日参加できなかった方も是非ご覧ください。

■本所耕種資材部施設園芸企画課

「ゆめファーム全農オープンデー @栃木」を開催(10/17-18)

JA全農では埼玉県幸手市に「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」を開設いたします(令和8年開設予定)。ここでは、施設園芸での新規就農を目指す方に約2～3年の研修期間で、トマト・ナス・キュウリの栽培技術と、労務・経営管理等の施設運営ノウハウを習得してもらいます。研修期間中は全農の臨時職員として給与を支給し、研修費用の負担はありません。

ん（※生活費、家賃等の支出を除く）。「新規に農業を始めたい」「本施設で研修を受けたい」などトレーニングセンターにご興味を持っていただいた方へ、実際に類似の施設をみていただきながら詳細な説明を行わせていただくため、「ゆめファーム全農オープンデー」を下記日程で開催します。

日程	時間	場所
2025 年 10 月 17 日（金）	13:00～14:30	ゆめファーム全農とちぎ （栃木県栃木市／トマト）
2025 年 10 月 18 日（土）	10:00～11:30	ゆめファーム全農とちぎ （栃木県栃木市／トマト）

そのほか詳細については下記に添付のチラシ・HPをご覧ください（担い手営農サポートシステムのナレッジ＞新規就農・事業承継にも格納しております）。

HP：<https://www.zennoh.or.jp/about/research/horticulture/>

ゆめファーム全農オープンデー（施設見学会）

全農は、専ら農業生産に専念するゆめファーム全農トレーニングセンター（※）にて、お集まりいただけます。

※ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市）にて下記のとおりオープンデーを開催いたします。

※ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市）にて下記のとおりオープンデーを開催いたします。

※ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市）にて下記のとおりオープンデーを開催いたします。

ゆめファーム全農 各場詳細

当日の集合時間や詳細な持ち合わせについては、<https://www.zennoh.or.jp/about/research/horticulture/> からのメールが受信できる方へ、受信設定を一度ご確認ください。

ゆめファーム全農とちぎ

※ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市）にて下記のとおりオープンデーを開催いたします。

ゆめファーム全農とちぎ

※ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市）にて下記のとおりオープンデーを開催いたします。

ゆめファーム全農とちぎ

※ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市）にて下記のとおりオープンデーを開催いたします。

申込はこちら→



HPIはこちら→



今後も都度HPやTAC通信・TACLINE等を用いてこまめに発信していきますので、引き続きよろしくお願いいたします！

■全農TAC・営農支援課「新・農業人フェア」開催のお知らせ

株式会社農協観光主催により、「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちをもつ全ての方を対象に、各自治体や農業法人等の就農支援情報及び求人情報を提供するとともに、農業への就農促進を図ることを目的に、国内最大級の就農イベント「新・農業人フェア」が令和7年8月～令和8年2月にかけて、東京及び大阪で開催されます。出展者や来場者を募集していますので、下記HPでご確認ください。

HP：<https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin>

日時	エリア	開催種別	会場
8/2（土）	東京	農業就職・転職LIVE	歌舞伎座タワー
9/15（月祝）	東京	農業EXPO	国際フォーラム
11/9（日）	大阪	農業EXPO	グランキューブ大阪
11/23（日）	東京	農業EXPO	東京ビックサイト
2/11（水祝）	東京	農業就職・転職LIVE	東京交通会館

※農業就職・転職LIVE…農業法人の出展に特化した就農相談会
農業EXPO………日本全国の自治体、就農支援機関など各種団体がメインで出展（農業法人も可能）

技術情報

■農研機構 技術情報 植物ホルモン類縁体プロヒドロジャスモンを用いた害虫忌避技術
（農研機構HPへリンク）NEW

今週は、植物ホルモン類縁体プロヒドロジャスモンを用いた害虫忌避技術の研究成果を紹介します。

【概要】
植物と植食性昆虫との相互作用を害虫防除へ応用する試みは最近注目を浴びており、植物が生来備えている害虫に対する抵抗性を活用する技術は、持続的な害虫管理を実現する上で今後重要な位置を占めるものと考えられる。そこで本研究では、植物の抵抗性を誘導するジャスモン酸（植物ホルモンの一種）の作用を応用し、その類縁体であるプロヒドロジャスモンを難防除害虫アザミウマ類などに対する害虫忌避剤として開発するために、その処理方法や処理条件、適用可能な野菜類や花き類を明らかにすることにより、技術の実用化と普及を目指す。

※農研機構プレスリリース・普及成果情報は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC広報・情報誌）にリンクを貼付しています。

（出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より）

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農業研究室 技術情報 剤型について【固形製剤】（アピネス／アグリインフォHPへリンク）NEW

今回は「剤型について【固形製剤】」について紹介します！

各固形製剤の特徴についてご案内いたします。ぜひ参考にしてください。

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」04_（農薬）にも格納してあります。

（出典：アピネス／アグリインフォHP 営農情報より）

農業労働力支援

■全農本所TAC・営農支援課 「全国労働力支援協議会」の開催

本所TAC・営農支援課では、全国6ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和4年3月に設立し、設立以降毎年開催しております。

6ブロックの協議会（北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州）と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいています。

今後、本所TAC・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所TAC・営農支援課 「91農業」の提唱

本所TAC・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「91農業」を提唱しております。

他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げて農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関われるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやHP等でPR活動を進めています。



- 9本業1農業：休みの日に1日農業、新しい副業の形
- 9育児1農業：子育てしながら一時期に農業、新しいパートの形
- 9旅行1農業：旅行の1日に農業、新しい旅行の形
- 9夢追1農業：夢を追いながら一時期に農業、新しいバイトの形
- 9自宅1農業：家以外に居場所が一つ増える、新しい就労支援の形

事業承継

■全農本所TAC・営農支援課 「事業承継支援 虎の巻」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様に「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて本所TAC営農支援課にご連絡ください！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では訪問チラシ「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Z-GISの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。[こちら](#)からご確認ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所TAC・営農支援課ではJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しています。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

手引きは、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所TAC・営農支援課 事業承継啓発チラシ親子別Ver.のご案内

全農本所TAC・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいためにしていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所TAC・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック部会版)を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所TAC・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック集落営農版)を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農HPは[こちら](#)

Z-GIS



!!! Z-GIS の動画のご紹介!!!



全農本所スマート農業推進課が、新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。

Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)

Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)

Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■本所スマート農業推進課 ～スマート農業の先進事例を見てみよう!～「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行(ご案内)

本所スマート農業推進課では、Z-GIS・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のZ-GIS導入ガイドから始まり、令和4年度は「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、JAにインタビューを実施し、計8事例掲載しております。また、ガイドの冒頭2ページに、Z-GIS・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Z-GISホームページや担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_ (スマート農業・ICT) でもPDF版を公開しております。

活用ガイド2023/2024は[こちらから](#)ご覧いただけます。

人材育成 (TACアグリビジネススクール、他各種研修資料等)

■本所TAC・営農支援課 令和7年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

令和7年度のTACアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

※第8～10回で開催時間の変更がありましたので、ご確認ください! 2025/7/9 更新

回	日程	時間	テーマ
1	6/3 (火)	10:00～15:00	農業を取り巻く情勢・取り組み
2	7/9 (水)	10:00～15:00	生産資材・技術情報①
3	8/5 (火)	10:00～15:00	農業労働力支援・相続・事業承継
4	9/3 (水)	10:00～15:00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	10/8 (水)	10:00～15:00	会計・税務研修①
6	11/5 (水)	10:00～15:00	会計・税務研修②
7	12/3 (水)	10:00～15:00	会計・税務研修③
8	1/7 (水)	10:00～15:00	総合事業連携の取り組み

9	2 / 4 (水)	10:00 ~ 15:00	生産資材・技術情報②
10	3 / 4 (水)	10:00 ~ 15:00	販売強化の取り組み

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■本所TAC・営農支援課 TACアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所TAC・営農支援課は開催した「TACアグリビジネススクール」の講義内容の動画をYouTubeに限定公開しています。

動画URL・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）にも格納済みです。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

○のぼり、ハッピー、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC広報・情報誌）22_（店舗・イベント）に格納されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

○タペストリー

本所TAC・営農支援課は「TACパワーアップ大会2024」の開催にあわせ、TACタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「TACタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」12_（パワーアップ大会・営農指導員大会）に投稿済

経営相談

※無料ですので、積極的にご活用ください!!!

■担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域TACまで連絡ください。

■農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！NEW

農業経営支援に関する役立つ情報をTAC通信、TAC LINEで配信をしていきます！

実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のTACに分かりやすい形でお届けします。

◆記事はこちらから [👉Click here](#)

◇今後の配信スケジュール

TAC通信（毎月第4水曜日掲載）／TAC LINE（毎月末配信）

○ 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！

- 5月 農地の取得・保有・譲渡編
- 6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）
- 7月 青色申告編－①
- 8月 青色申告編－②
- 9月 法人化編

○ 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係る
チェックポイントを全5回シリーズで解説！

- 10月 集落営農法人の事業承継
- 11月 個人親子間
- 12月 法人親子間
- 1月 個人第三者承継
- 2月 法人第三者承継

○ これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！

- 3月 経過措置への対応策について

◆ アンケートはこちらから！

農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

担い手営農サポートシステム関連情報

■ 担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただきます。

（URL：<https://zennoh.my.site.com/entry>）

以下登録の手順をお知らせいたします。

- ① 上記URLを開き、必要事項を入力
- ② 入力内容を確認し、利用規約に同意する
- ③ 入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる
- ④ 申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている
- ⑤ ダウンロードされた担い手サポート管理システム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
- ⑥ PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
- ⑦ ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。

（ナレッジURL：https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge_kav/ka02x000000WRyxAAG/view）

※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ ヘルプデスク連絡先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスクエア新宿9階

株式会社 全農ビジネスサポート

担い手営農サポートシステムヘルプデスク

TEL：03-3350-1157

Eメール：ninaite-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

【 9月 】月間ランキング

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/09/01 ~ 2025/09/30)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	2,020	66	30.6
2	JA兵庫南	1,537	14	109.8
3	JA仙台	1,434	41	35.0
4	JA常総ひかり	1,211	16	75.7
5	JAフルーツ山梨	1,208	27	44.7
6	JA金沢市	1,190	26	45.8
7	JAさいたま	1,002	14	71.6
8	JA南彩	978	11	88.9
9	JA岡山	946	31	30.5
10	JAむなかた	870	12	72.5

(訪問期間:2025/09/01 ~ 2025/09/30)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA福岡大城	164	1	164.0
2	JA粕屋	316	2	158.0
3	JAよこすか葉山	813	6	135.5
4	JAなす南	497	4	124.3
5	JAしおのや	614	5	122.8
6	JA越谷市	113	1	113.0
7	JA兵庫南	1,537	14	109.8
8	JAあさか野	541	5	108.2
9	JA足利	199	2	99.5
10	JA南彩	978	11	88.9

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：[担い手対応](#)）を集計

★10月7日登録までの集計

【 10月6日 ~ 10月19日 】週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/10/06 ~ 2025/10/19)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	682	44	15.5
2	JA仙台	584	38	15.4
3	JA金沢市	456	21	21.7
4	JAさいたま	446	13	34.3
5	JAくるめ	385	8	48.1
6	JA西印旛	353	6	58.8
6	JA兵庫南	353	12	29.4
8	JA常総ひかり	352	13	27.1
9	JAフルーツ山梨	350	22	15.9
10	JA南彩	296	7	42.3

(訪問期間:2025/10/06 ~ 2025/10/19)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA粕屋	187	2	93.5
2	JA福岡大城	74	1	74.0
3	JA埼玉中央	64	1	64.0
4	JA西印旛	353	6	58.8
5	JAしほね 西いづみ地区本部	152	3	50.7
6	JAくるめ	385	8	48.1
7	JA足利	94	2	47.0
8	JAあさか野	279	6	46.5
9	JAさいかつ	180	4	45.0
10	JAよこすか葉山	259	6	43.2

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：[担い手対応](#)）を集計

★10月7日登録までの集計

最近のメディア

○スマート農業情報

[ザルビオユーザー事例 秋田県 伊藤譲](#)

[ザルビオユーザー事例 香川県 横関さん](#)

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）に格納

○グリーンレポート10月号

[JAと連携した農業普及活動～サポート体制の強化による新規就農者の経営力向上～](#)
[スマート農業推進の取り組み～「スマート農業 WEB ミーティング」を開催しています～](#)

○経営実務7・8月号

[いまこそTACだ！！ 北海道 JAあさひかわ 佐藤航紀氏](#)

[いまこそTACだ！！ 神奈川県 JA湘南 濱端興樹氏](#)

[いまこそTACだ！！ 神奈川県 JAよこすか葉山 安藤秋徒氏](#)

○地上11月号

※「地上」の公式HPは[こちら](#)から。NEW

○全農ウィークリー

[2025年10月13日 \(vol.1124\) NEW](#)

※TAC活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

○OAGRI FUTURE

[No. 110 \(JAわかやま\) 発行 \(6/25\)](#)

◆生産者の声：新しょうが／すもも／南高梅（なんこううめ）

◆クローズアップ：新しょうがレシピ

◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」

フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付 HPは[こちら](#)

○全農HP

- 『令和7年度強い農業づくり総合支援交付金（食料システム構築支援タイプ）』一般競争見積結果報告について [NEW](#)
- 卓球日本代表選手の皆さんを「ニッポンの食」で応援！第28回 ITTF-ATTU アジア卓球選手権大会 2025@インド [NEW](#)
- 中畑清氏・五十嵐亮太氏ら元プロ野球選手が直接指導！J A全農WCBF少年野球教室を開催 [NEW](#)

○農業協同組合新聞

- 10月21日に発足した高市内閣の農相に農林水産副大臣を務めた自民党衆議院議員の鈴木憲和氏が就任した。 [NEW](#)
- 来年の米生産 米価高を理由に3割が「増やしたい」米生産者の生産意向アンケート 農水省 [NEW](#)
- 大量合成可能なジャガイモシロシストセンチウ ふ化促進物質を発見 [NEW](#)
- 鳥インフル 米ワシントン州からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)
- 鳥インフル 米モンタナ州からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)
- 鳥インフル 米アイダホ州からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)
- イネカメムシをムシヒキアブが捕食 「天敵」防除に可能性 有機農研シンポで報告 [NEW](#)
- 世界各地から収集したイネ遺伝資源「NRC」整備とゲノム情報を公開 農研機構 [NEW](#)
- 過去最高 60kg3万6895円 25年産米9月の相対価格 [NEW](#)
- プロの農業サービス事業者の育成を 農サ協が設立式典 [NEW](#)
- 【サステナ防除のすすめ】水稲除草剤 草種、生態を見極め防除を(1) [NEW](#)
- 【サステナ防除のすすめ】水稲除草剤 草種、生態を見極め防除を(2) [NEW](#)
- 随契米放出は「苦渋の決断」 新米収穫増 生産者に「ただ感謝」 小泉農相退任会見 [NEW](#)
- 11月29日はノウフクの日「もっともっとノウフク2025」全国で農福連携イベント開催 農水省 [NEW](#)
- 北～東日本は暖冬傾向 西日本は平年並の寒さ「秋冬の小売需要傾向」ウェザーニューズ [NEW](#)
- 食と農業を担う起業家を発掘「FOOD&AGRI FOODTECH Youth Summit 2025」初開催 [NEW](#)
- 食痕から「カモ被害」を識別する標準作業手順書を公開 農研機構 [NEW](#)
- 鳥インフル 米モンタナ州全域からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)
- いまなぜ協同組合？ 社会学者招き「国際協同組合同年」学習会 パルシステム [NEW](#)
- BASFと日産化学が戦略的提携 新殺虫剤「Prexio Active」日本の水稲生産者へ提供 [NEW](#)
- みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践(81)【防除学習帖】第320回 [NEW](#)
- 農業の正しい使い方(54)【今さら聞けない営農情報】第320回 [NEW](#)
- 25年度上期販売乳量 生産1.3%増も、受託戸数9500割れ [NEW](#)
- 農薬出荷数量は0.5%増、農薬出荷金額は3.5%増 2025年農薬年度8月末出荷実績 クロップライフジャパン [NEW](#)
- 飼料用米、稲WCSへの十分な支援を J Aグループ [NEW](#)
- 死亡野鳥の陰性を確認 高病原性鳥インフル [NEW](#)
- 稲わらを石灰処理後に高密度化 CaPPA プロセスを開発 農研機構 [NEW](#)
- 飼料用米作付け 前年比53%減 戦略作物 軒並み減 [NEW](#)
- 米価 3週連続低下 4205円 [NEW](#)
- みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践(80)【防除学習帖】第319回 [NEW](#)
- 農業の正しい使い方(53)【今さら聞けない営農情報】第319回 [NEW](#)
- 25年産米 予想収穫量747万7000t 前年より68万5000t増 [NEW](#)
- 食料自給率 4年連続38%で足踏み 主食用米消費増も小麦生産減 24年度 [NEW](#)
- 26%が米「買い控え」 米価上昇が家計に影響 住友生命「台所事情」アンケート [NEW](#)
- 耕地利用率90.4% 前年より0.6ポイント低下 2024年 [NEW](#)
- ジビエ利用量 過去2番目に多い2678t 農水省 [NEW](#)
- 橙肉色の焼酎原料用サツマイモ新品種「はなあかね」育成 農研機構 [NEW](#)
- 病害虫発生情報

※ 本リンクは、インターネット上にある新聞や各種情報のうち、TAC・営農支援課が担い手に関係する内容を収集して作成しています。

全農本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課

TEL:03-6271-8276

FAX:03-5218-2535

mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp



[HP](#)

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2024「大会宣言」

我々TACは、

- 一、担い手の声に寄り添い、
J Aグループの力を発揮し、真摯に応えます。
- 一、担い手とともに、
「地域農業」と「食」の未来を守り続けます。
- 一、TACなど訪問活動の輪を広げ、
新たな可能性に挑戦していきます。

★第2・第4水曜を基本に定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★